

2 収支の状況

(1) 収支概要

平成23年度純損失……▲357,463千円 →635,102千円(対前年度差額)
 (平成22年度純損失……▲992,565千円)

・収益については、入院診療単価、入院・外来患者数の増加により医業収益(特に入院収益)が増加したため、前年度比で約6%増加となった。
 ・費用については、給与費や材料費等の増加があったものの、減価償却費や臨時損失の減少等により約2%の増加に抑えられた。
 ・収支差については、約3億6千万円の赤字となったが、平成22年度と比べ大幅に赤字額は縮小した。

(2) 前年度比収支状況

(単位:億円)

	H22年度	H23年度	H23-H22	対前年度比	参 考
収益	174.2	184.2	10.0	106%	診療単価 (H22) (H23)
営業収益	170.3	181.1	10.8	106%	入院 60,555円 → 64,741円
うち入院収益	116.1	125.4	9.3	108%	外来 14,448円 → 14,348円
うち外来収益	40.0	41.0	1.0	103%	
うち運営費負担金	8.8	8.9	0.1	101%	患者数 (H22) (H23)
営業外収益	2.7	2.9	0.2	107%	入院 191,389人→193,205人
うち運営費負担金	2.2	2.2	0.0	100%	外来 274,440人→285,186人
臨時利益	1.2	0.2	▲1.0	17%	
費用	184.1	187.8	3.7	102%	一般病床利用率 (H22) (H23)
営業費用	170.3	179.0	8.7	105%	88.9% → 89.5%
うち給与費	75.1	79.8	4.7	106%	
うち材料費	46.3	49.1	2.8	106%	
うち経費	24.7	26.3	1.6	106%	
うち減価償却費	23.2	22.8	▲0.4	98%	
営業外費用	7.8	7.1	▲0.7	91%	
臨時損失	6.1	1.6	▲4.5	26%	
収支差	▲9.9	▲3.6	6.3	-	

(3) 前年度比収支変動の主な要因

ア 営業収益

うち入院収益 (9.3億円増) 診療単価・患者数の増加によるもの
 うち外来収益 (1.0億円増) 患者数の増加によるもの

イ 営業費用

うち給与費 (4.7億円増) 職員の増員によるもの
 うち材料費 (2.8億円増) 医業収益の増加によるもの
 うち経費 (1.6億円増) 委託料等の増加によるもの
 うち減価償却費 (0.4億円減)

ウ 臨時損失

H22年度建物解体費用の計上等に伴う反動減によるもの (3.7億円減)